

暮らしにやさしく強い経済への転換

ロシアのウクライナ侵略から4カ月、戦争の恐ろしさが日を増して感じられるようになりました。また、物価の高騰が、庶民の暮らしを直撃しています。暮らしが大変なのは、世界の動きにも関係がありますが、なにより、政府と日銀の「異次元の金融緩和」(※異次元とは、今まで見たこともない、とんでもない、取り返しの

つかないという意味です。)による、円安と、株価のつり上げによって、大企業や、大株主だけが儲かる仕組みがつくられたことにあります。そこへもってきて、賃金は上がらない、年金は下がる、75歳以上の医療費2倍化(10月)・・・など社会保障の切り下げによって庶民はたまったものではありません。

水道料金引き下げを

→ 選択肢のひとつであると考えている。

1. 市民1人5,000円を考えている。(前は1世帯に4000円)
2. 実施時期を夏休みにあわせ、使用期間を約3カ月に拡大した。
3. 利用できる店舗を約168店を見込んでいる。電話注文して家まで届けるサービス店もある。
4. お店の商品などがわかりやすい工夫する。
5. 使用の際個人情報枠にシールを用意します。申出てください。

お買い物クーポン券を使いやすいものに



→

非正規雇用・会計年度任用職員の時給1500円に

→

いずれの職種においても従前を上回っている。
各職種とも京都府の最低賃金を上回っている。
保育士、留守家庭児童会指導員等の時間単価を3%程度引き上げた。

75歳以上の窓口医療費2倍化を回避できないか

→ 法に規定されたもので、市独自ではできない。

ぐるっとむこうバスの利用促進

5月2日に「ぐるっとむこうバス」がダイヤ改正され、東山、向日台を通ることとなり、「バスの増便を求める住民の会」のみなさんで、お祝いと歓迎が行われました。早速、体育館近くの農園に畑仕事に行くためと乗車されました。高齢者からは、向日町郵

便局に行けるので助かります。の声が寄せられています。猛暑の夏の買い物、通院などに利用が期待されます。

ダイヤ改正にご尽力された市職員はじめ、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

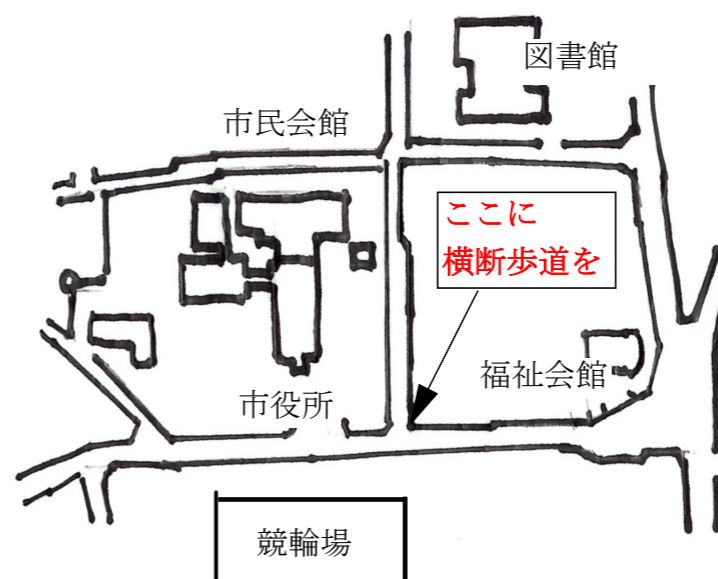
乗って支えるために利便性の向上を



- ・ 運転免許証を自主返納した方に2000円分の公共交通利用券の支援を行っている。(昨年度までに約403人)。
- ・ 「北ルート」のICカードの利用は、費用がかかるので困難だ。
- ・ 市のイベントや土日の運行は道運送法上の制約や、運転手不などのため難しい。
- ・ 夏休み期間、市制50周年事業を兼ね、降車時に「50周年」と言えば、小学生は運賃が無料にするなど計画している。

交通安全対策

横断歩道の設置を



→ 市役所に来庁される方々をはじめ多くの方が利用されることから、警察に要望してきたが、夜間の交差点内の照度が低いため、道路照明が完成した後、横断歩道を設置する。